

東京本社、  
テレワークを  
実践。  
会社でも移住の  
成功事例に。



さかうえ かおり  
坂上 香織さん(30代)

<会津若松市>

会社員(広告会社)  
(就業)

2022年 Iターン

## 会津若松市にテレワークでIターン

『会津観光の象徴「鶴ヶ城」。戊辰戦争で無数の大砲が撃ち込まれ、それでも耐えた5層造りの城を取壊し、再建したのは昭和40年でした。お城の再現により、現在、東北では数少ないお城がある町として観光客が訪れています。』

東京都生まれの坂上さんは城マニアとして以前から会津若松市が大好きだったと言います。2022年6月に移住してきた坂上さん。会津若松市に移住するきっかけ、今のお仕事、住んでみての会津若松市の魅力などをコワーキングスペースで取材しました。』

取材日 2022年12月3日

## 移住のきっかけと仕事のこと

### <移住のきっかけ>

移住を考えたきっかけはコロナ禍によるテレワークでした。それまで家は帰ってから寛ぐ場所だったのに、仕事と衣食住すべてが一緒になって、心の切り替えができなくなったのだと思います。ワークライフバランスが崩れてしまい、このままでは良くないと考えました。

会津は小さな頃から両親と遊びに来ていました。特に裏磐梯のペンションには毎年泊まりに行っていて、最初は裏磐梯への移住を検討したのですが、会津若松市に知り合いがいたことと、検討のための交通費補助やお試し移住制度など使える福島県の事業があり、会津若松市での移住を決めました。本当は「どうせ住むなら中古の家でも買った方が広い家に住める！」とも思ったのですが、移住コーディネーターの方にお試し移住制度を使って一旦ワンクッションを置いた方がいいとアドバイスをもらいました。今ではそれが正解だったと思います。

### <仕事のこと>

私、基本インドア派なんです。家が大好きでずっと居られるタイプです。今の家は高台にあって、仕事部屋の窓から会津盆地がキレイに見えるので気に入っています。

仕事は東京にいた時と同じ仕事をしています。コロナ禍前はクライアントさんへの訪問が必要でしたが、コロナ禍によってリモートでの打ち合わせが中心となり、会



社への出勤も月に1度でよくなりました。仕事は相変わらず忙しいのですが、テレワークの時間配分が上手くできるようになったことと、仕事が終わったら日帰り温泉に行って、気持ちを切り替えることを覚えました。

仕事場のWi-Fi環境も整えてあるのでPC環境は快適なのですが、町なかにはコワーキングスペースもあって、たまに気分転換したくなった時や出先での仕事場として使えて便利です。

# 暮らしと会津若松市の魅力

## <会津若松市での生活>

会津若松市に住んでから日光を浴びるようになりました(笑) もともと家にずっと居られるタイプなのですが、天気がいいと外に出てみたり、カメラを持って町中を歩いたりするようになりました。

買い物は土日にもまとめ買いが中心ですが、深夜まで空いているスーパーもありますし、飲食店も遅くまでやっているので残業の多い時期でも困ることはありません。もしかしたら食材を買うのは都内にいた時より買い物ストレスは少ないかもしれません。

あと、野菜をたくさん食べるようになりました。都内

にいる時は野菜を取ることは義務のように感じていたのですが、今は新鮮な野菜があると美味しそうと思います。凝ったメニューではなく、素材を活かすような料理を作るようになったのも、こちらに住むようになってからです。

生活していて大変と感じたのは一方通行が多いということです。私が住んでいた目黒区も一通が多いエリアですが、その点は会津若松市街地も同じです。そのため、最初は運転するのが不安でしたがナビ任せに運転しているうちに道も覚え、気楽に運転できるようになりました。移住前は一切運転しない生活でしたが、やってみると楽しいですね。猪苗代湖や裏磐梯などドライブに行くことも多いんですよ。



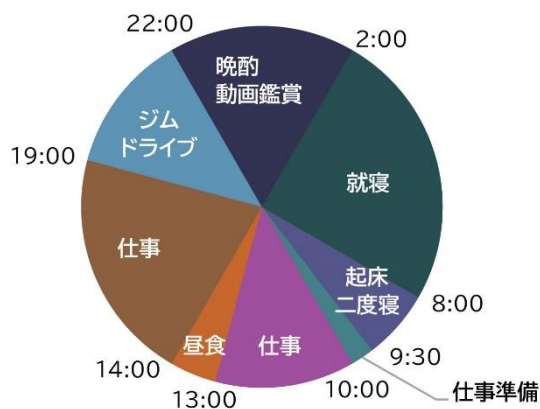
会津の居酒屋は一人で入りやすく、食も酒も美味しい

## <会津若松市の魅力>

会津若松市はテレワーク向きだと思います。東京の本社に行くことがあるのですが、日帰りできますし、都内にいた時とギャップなく働いています。私の感覚としては都内から田舎に移住したのではなく、目黒区から世田谷区に移ったくらいの移動感覚です。私のように都内でテレワークしている人は環境が変わるだけで、すごく生活しやすくなると思います。

会津若松市内で次の家も探したのですが、知り合いの近くにしました。猫が飼える物件なんです。出張の時に知り合いのところに猫を預けることもできますし、近くに仲が良い人がいるって安心で、面倒見のいい会津人のおかげです。

## ある一日のスケジュール



## 坂上さんの行動歴

東京都生まれ ⇒ 北海道(就職) ⇒ 東京都(大学) ⇒ 東京都(就職) ⇒ 会津若松市へ

## 移住を検討している方にアドバイス

会津の街中は一通が多いです。標識をよく見ないと知らないうちに一通を逆走してしまうので注意を。



カメラを持って町中散策が楽しい

現住人口	114,980人 男性/55,044人 女性/59,936人
面積	382.99平方キロメートル
標高	海拔 218.32m(会津若松市役所)
最寄駅	JR磐越西線「会津若松駅」
最寄IC	磐越自動車道「会津若松IC」
保・幼・こ	認可保育所 11か所 幼稚園 2園 認定こども園 18園
小学校数	公立 19校 私立 1校
中学校数	公立 12校 私立 1校
高校数	公立 6校 私立 3校
病院数	病院 7か所 診療所 95か所 歯科 54か所

## 市の特徴

鶴ヶ城を中心とした歴史と伝統が息づく城下町。会津地方の中心地として都市機能を備え、行政や企業の出先機関や支店等も集中している。一方で、すぐそこには素朴な里山、田園風景が広がっている。現在は行政サービスや事業にICT(情報通信技術)を導入したまちづくり“スマートシティ会津若松”に取り組んでいる。

## 移住 サポート 窓口

会津若松市定住・二地域居住推進協議会 会津若松市役所(地域づくり課)  
移住ウェブサイト[aizuwakamatsu-iju.jp](http://aizuwakamatsu-iju.jp)  
電話:0242-39-1202  
メール:[shinko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp](mailto:shinko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp)

